

いぐさ ～灯心草の心。

畳を通じ、伝え続ける文化と歴史～

第16回 “草津の頑張る企業！”

中村畳店

(草津市洪川2丁目6-34 TEL 077-562-2021)



店主 中村 明雄 氏

『灯心草』。これは畳の原材料である「いぐさ」の別名です。いぐさの芯を取り出し、昔の行灯などであかりを灯す部分に使用されていたことに由来するのですが、この灯心草のように畳文化、日本文化のあかりを灯し続ける企業、それが中村畳店です。



▲“灯心草舎”の看板が目印の店舗

畳を売るのではなく、文化を伝える…店主の想い

中村畳店は開業より90余年を数える老舗で、2代目店主の中村明雄氏は、本物の畳がもつ温もりとそこから生まれる日本文化を大切に伝えていくことを第一とされています。「畳を売るのではなく、畳を通じた文化を伝え、残したい。それが私の経営方針かな…」と少し照れくさそうに話す中村氏からは、温かい人柄が伝わってきます。その確かな技術と間違いのない製品と相まって、古くからのお客様が繰り返し購入されるのも納得です。



▲いぐさを使った椅子・ドリンクコースター

畳の良さと可能性をまだ見ぬ顧客へ伝えたい…展示即売会にて販路開拓

また、中村氏は畳のもつ可能性を様々な形で表現されています。いぐさを使った椅子やドリンクコースター等、さまざまな商品を開発されました。それらの商品をまだ見ぬ顧客へ届けるため、当会議所の展示会出展支援プログラムを活用し、今年1月開催の『ふるさと企業いいもの発掘市』に出店。「会議所の販路開拓セミナーや職員の方々からのアドバイスから、今まで気付けなかった商品の魅せ方等を学ばせていただき、本当にありがたかったです。」商品の受注にしっかりと繋ぎ、確かな成果を挙げられました。

「先日はマレーシアへの畳コースターの納品もあり、畳文化は世界でも評価されていると思います。日本人の畳離れと言われる時代ですが、良いものは残り続けるはず。日本文化を伝承する意味も込めて、これからも畳の良さをより多くの人に伝えていきたいですね。」とにこやかに語る中村氏。今後ますますのご活躍が期待されます。

POINT
展示会出展支援
プログラムで
販路開拓を!

ふるさと企業いいもの発掘市や東京インターナショナルギフトショー等を通じ、自社商品を地元はもとより、まだ見ぬ商圏へと売り出していただくため、草津商工会議所では支援プログラムをご用意いたします。本年度の詳細が決まり次第、本紙およびHPにてお伝えいたしますので、どしどしご応募を!